

2. 救急（ケガ、急病）

- ◆ 傷病の度合いにより発見者または当事者が判断
加速器運転責任者(宿・日直者) (090-3051-3770)、オペレーター (内線 8835、8836)、
事務室庶務係 (内線 8902、8903) 消防署 (内線 118)
◎ 迷った時は、救急安心センターおおさか #7119 (つながらない時は
06-6582-7119) に相談して下さい。
- ◆ 傷病者の搬送もしくは救急車の誘導

※ 傷病者による自動車等の運転は禁止。

<一般事項>

- 職場における安全については、職員の一人一人が特に注意し、事故のないよう心がけて下さい。
- センター内において、事故等による不測の傷病が発生した場合には、下記の救急時連絡先リストのできるだけ上位の連絡先に連絡して下さい。
なお救急の場合には、当事者又は発見者が直接救急車の手配を行って下さい。
またその際にはかならず庶務係に連絡して下さい。

救急連絡体制

宿・日直者 (090-3051-3770)

オペレーター (内線 8835、8836、加速器運転期間中)

放射線管理室 (内線 8830、平日 9:00～18:00)

庶務係 (内線 8902、8903、平日 8:30～17:30)

大阪ガスファシリティーズ (OGFA) (内線 8890、土・日・祝日のみ)

救急車・病院の手配をするときには、落ち着いて、「救急」であること、場所（大阪大学核物理研究センターの○△棟□○室など具体的に。放射線管理区域内である場合にはその旨も知らせる）、状況（「ケガ」か「病気」か、い

つ・だれが・どこで・どうなったか、など)、連絡先（通報者の名前と電話番号など）をお知らせ下さい。

軽微な傷病の処置

- 軽微な傷病については、勤務時間内は大阪大学保健センター吹田分室〔（代表）06-6879-8970〕を利用して下さい。また、放射線管理室と庶務係に救急箱を設置してありますので利用して下さい。

〔救急箱の設置及び救急箱内の薬品等の補充については、その都度、庶務係（**内線 8903**）に申し出て下さい。〕

その他

傷病者は場合により容態が急変することがあります。病院等に行くときは必ず付き添いを付け、傷病者が車等を直接運転しないようにして下さい。

センター内で傷病が発生した場合は、「事故等発生時の連絡票」を庶務係に提出して下さい。様式は web からダウンロードできます。

<http://www.rcnp.osaka-u.ac.jp/Divisions/plan/riyou/Anzen/index.html>

AEDの使い方

○ AEDとは？

AED（自動体外式除細動器）とは、心筋がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（**心室細動***）に陥った心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。

2004年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、病院や診療所、救急車などの医療施設・設備、さらに空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業等の人が多く集まる場所を中心に設置されています。

核物理研究センターでも2006年5月に本館1階ロビーに設置され、利用が可能となっています。



*心室細動

心室細動とは、心臓の筋肉がけいれんをしたような状態になり、全身に血液を送るポンプ機能を失った状態になる致死性不整脈の一つです。心室細動の唯一の治療方法が、除細動器（AEDを含む）で電気ショックを与えることだと言われています。また、電気ショックによる処置の奏効率は、心室細動の発生後、1分経過するごとに7～10%ずつ低下すると言われています。1分でも早い対応が重要と言えます。

○ AEDの使い方

- （1）倒れている人を発見し、意識・呼吸がない場合は、胸骨圧迫による心臓マッサージと人工呼吸を行ないます。また、最寄りの人に救急車の出動要請と、患者救命の補助を依頼して下さい。

- (2) AEDが到着したら、箱を開いて下さい。



- (3) 音声ガイドが自動的に開始されますので、その指示に従って操作・処置を行なって下さい。処置の順序は以下のとおりです。

1) 人工呼吸

- 2) 電極パッドを取り出し、患者の右胸上部と左胸下部に貼り付けて下さい。
(2枚のパッドに区別はありません。)



- 3) 正しく貼り付けられたことがAED本体によって確認されると、貼付指示ランプが消灯します。
- 4) AED本体が自動的に心電を計測します。

- 5) AEDにより電気ショックが必要と判断された場合、誰も患者に触れていないことを確認した上で、音声ガイドにしたがって電気ショックを与えるスイッチをONにして下さい。



- 6) 電気ショックの終了後、再び胸骨圧迫による心臓マッサージと人工呼吸を行ない、救急車の到着を待って下さい。

より詳しい説明についてはAED機器取り扱い企業のホームページ等をご参照下さい。